

# 令和7年度 低学年運動（火・木） 年間カリキュラム

**【ねらい】**

- ・運動機能面の向上
- ・対人スキルの向上  
(挨拶、傾聴姿勢、場面や年齢に応じた言葉遣い)
- ・自己発信力の向上

	種目	目的・ねらい	●健康・生活 ●運動・感覚 ●認知・行動 ●言語・コミュニケーション ●人間関係・社会性	※予想されること、◎注意点 (前年度の課題と今年度の改善策)
4月 5月 6月	・集団行動 ・サーキット ・リレー ・ボールレクリエーション	・運動クラブの参加にあたっての心構え、基本動作を身に着ける ・運動クラブでの流れに慣れる ・他児との関わり方を学ぶ	・運動クラブの流れを覚える ・挨拶、傾聴姿勢を学ぶ ・他児との関わり方を学ぶ ・他児や職員に対しての言葉遣いを学ぶ (コミュニケーション能力の向上) ・空間認知機能の向上	・運動クラブ初利用の児童に対しての支援（新一年生、新規児童） →視覚支援にて運動クラブの流れを説明 →職員を個別につけ対応 ・他児や名前が分からない →1か月名札をつけて覚えてもらう (児童・職員)
7月 8月 9月 10月	・転がしドッジボール ・ドッジボール ・スポーツ大会にむけて	・ボールに慣れる ・ルールを理解し、実践できる ・勝つ楽しさ、負ける悔しさを覚える	・投げる、捕る、避ける動作を学び実践する ・他児や職員とのコミュニケーション能力の向上 ・空間認知機能の向上	・ボールの取り合いで揉める →最初は職員が介入し、順番等決めて投げる。少しずつ慣れてきたら児童同士で話し合い解決するよう支援する。 ・ルール理解が乏しい →個別で職員が対応
11月 12月	・サッカー	・ボールに慣れる ・ルールを理解し、実践できる ・勝つ楽しさ、負ける悔しさを覚える ・競技に対して一生懸命に取り組む力をつける	・他児や職員とのコミュニケーション能力の向上 ・蹴る、止める、パスを出す、シュートをするといった一連の動作を学び、向上。 ・空間認知機能の向上	・怪児につながる為、周りをよく見て活動するよう支援する。 →始まる前に必ず説明し、難しい児童には個別で対応。 ・得点が入る入らないで揉める。 →試合前に必ずルールを説明。試合中も職員が介入する。視覚支援を使用する
1月 2月	・持久走 ・縄跳び（大縄） ・器械運動	・持久力の向上 ・持久走の楽しさを知る ・縄跳びの楽しさを知る ・きつくても最後まで諦めない ・リズム感を身に着ける	・持久力の向上 ・忍耐力 ・リズム感 ・協調性向上	・きついからやらないという場面が見られる →まずは職員がお手本となり、一緒に走り最後まで取り組む姿を見せる ・縄跳びに苦手意識がある →まずは通り抜けから練習し、自己肯定感を高め、レベルアップを図る
3月	・まとめ	・ルールを理解し、実践できる ・他児と協力し、勝つ楽しさ、負ける悔しさを学ぶ	・他児や職員とのコミュニケーション能力の向上 ・空間認知機能の向上	・職員が手本となり、積極的に取り組む。 ・子どもたちが継続して参加できるよう視覚支援を作成する。